

# XMLコンソーシアムセミナー



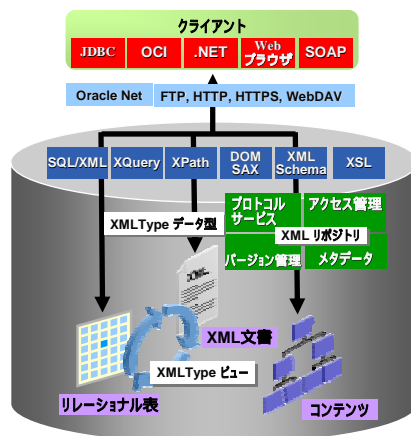
## ORACLE®

### Oracle XML DB 製品説明

日本オラクル株式会社 プロダクトオペレーションズ 秋本 尚吾  
2006年10月4日

## Oracle XML DB とは

### XML文書をその構造のままOracleデータベースに格納



- XML文書のためのXMLType型
  - XML文書の構造そのままにOracle Databaseに格納するためのデータ型
  - XML Schema, XPath, XQueryなどXML固有の技術をそのまま利用可能
- 標準規格への対応
  - XQuery 1.0
  - SQL:2003 SQL/XML
- XML文書のためのリポジトリ
  - 仮想的なファイルシステムをOracle XML DB上に展開
  - HTTP(S), WebDAV, FTPでアクセス
- 各種ツールとの連携
  - Oracle JDeveloper 10g
  - Oracle Enterprise Manager 10g

ORACLE

# XML データベース選択のポイント

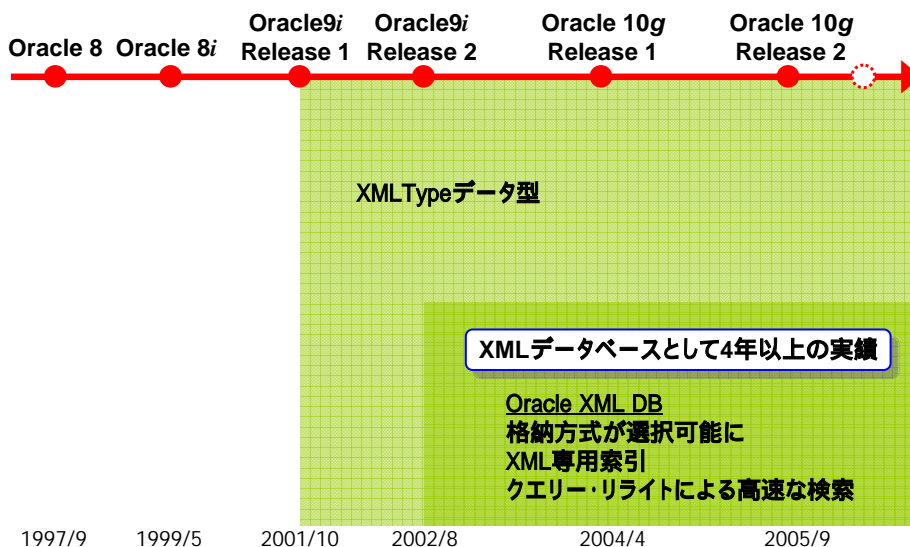
- XMLのメリットを備えていること
  1. XMLフォーマットの柔軟性を活かせること
  2. 文書内と大規模な文書コレクション間の両方で、高パフォーマンスの検索が実行できること
  3. W3Cオープン標準対応
    - XMLを取り巻く主要な規格に準拠していること
    - SQL、XML、XPath、XSLTなどのオープン標準をサポートするJavaなどの言語が使用できること
  4. 大量のXML文書を処理または生成する能力があること
  5. 既存の資産と連携できること
- データベースが本来備えている信頼性を保持していること
  6. トランザクション機能
    - トランザクションの ACID 特性を実装していること
    - 完全なロック機構による同時実行性の保証
    - クラスタ構成時の負荷分散やコネクションプール操作機能を実装していること
  7. 大規模データ処理を想定して作られていること
  8. 実績のあるバックアップ/リカバリ
  9. 高いレベルのセキュリティが得られること

ORACLE

Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

3

# XML専用データ型 (1, 2)



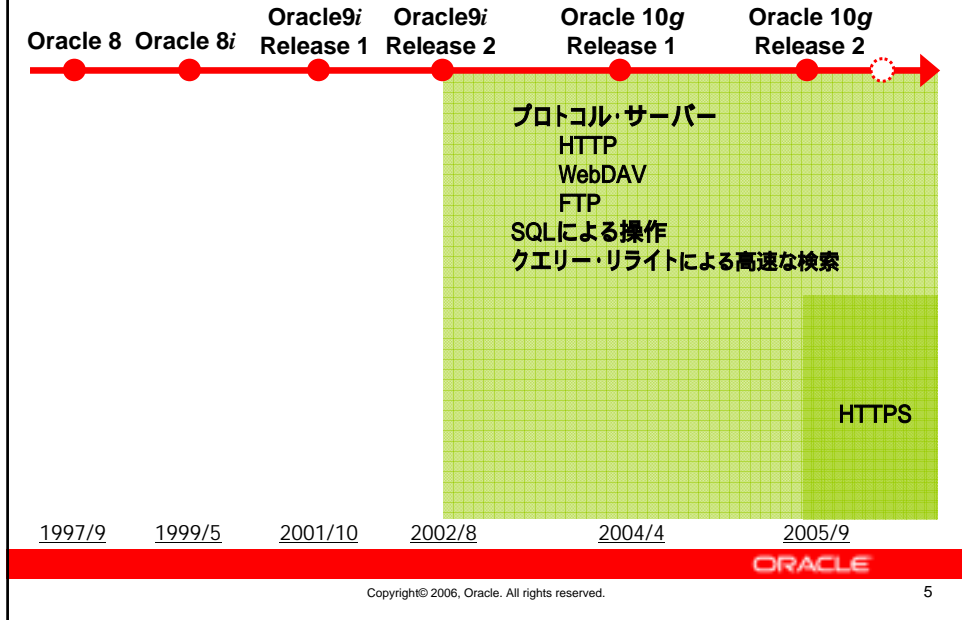
ORACLE

\* 日付は日本での出荷年月

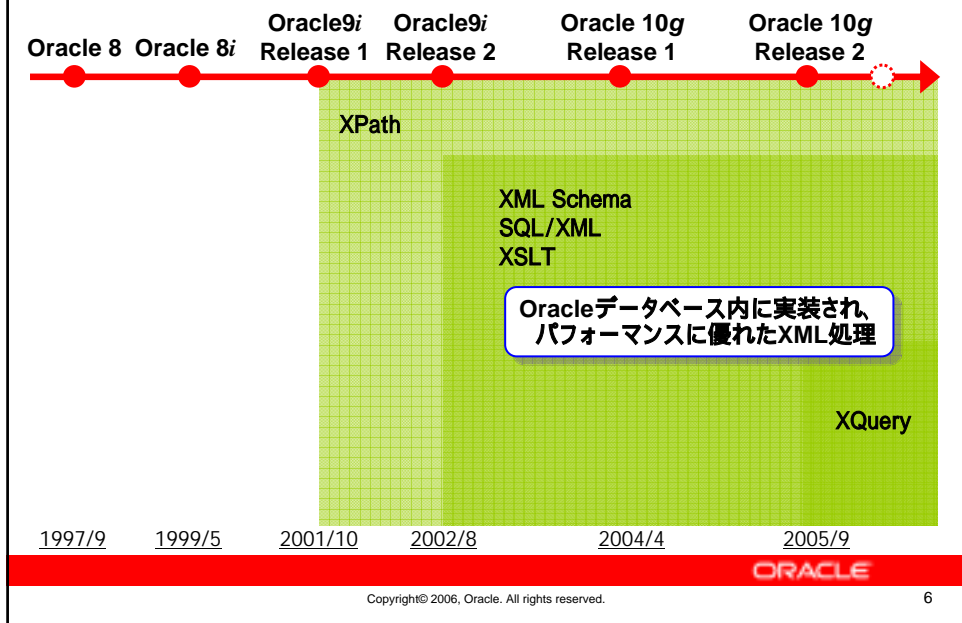
Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

4

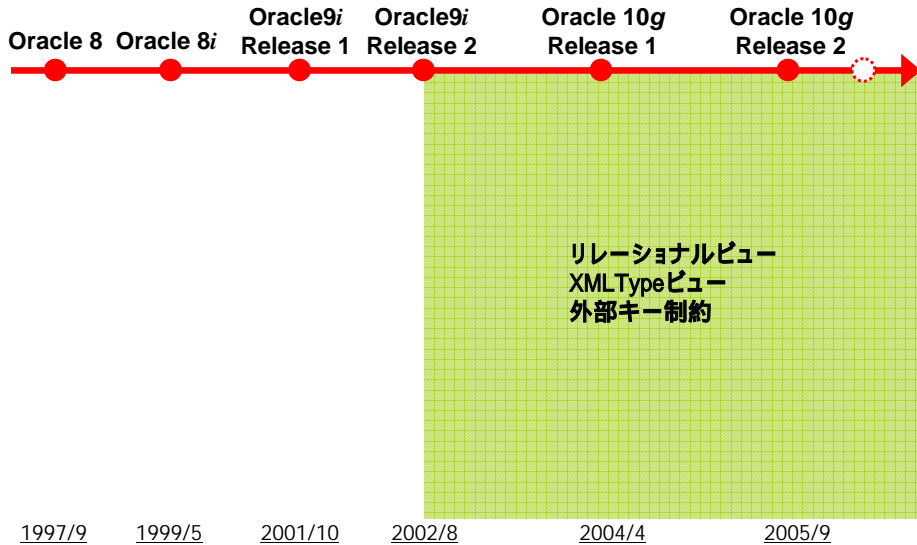
## リポジトリ (1, 2)



## 標準規格 (3)



## RDBMS連携 (5)

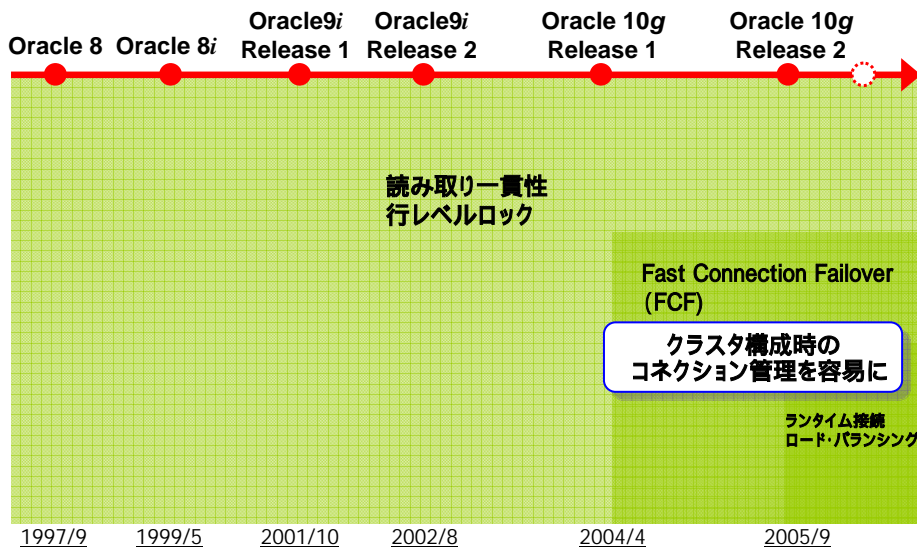


ORACLE

Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

7

## トランザクション (6)



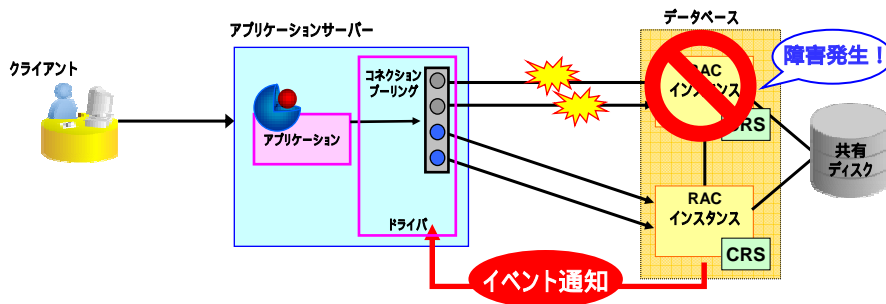
ORACLE

Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

8

## (参考) Fast Connection Failover (FCF)

- ノードやネットワーク障害を迅速に検知し、無効なコネクションを自動的にクリーンアップ
  - アプリケーション側からのネットワークやデータベースの障害検知
  - コネクションプール内の無効なコネクションのクリーンナップ

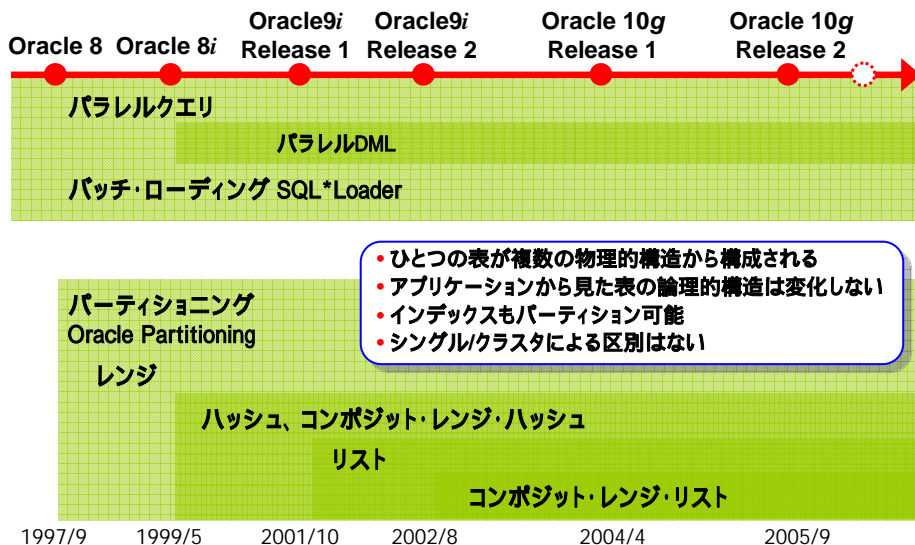


ORACLE

Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

9

## 大規模データ対応 (4, 7)

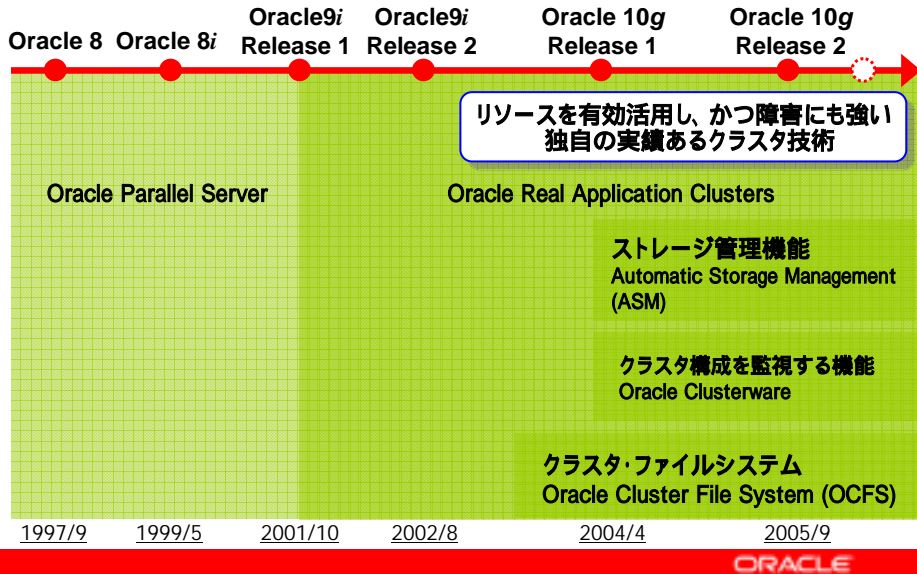


ORACLE

Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

10

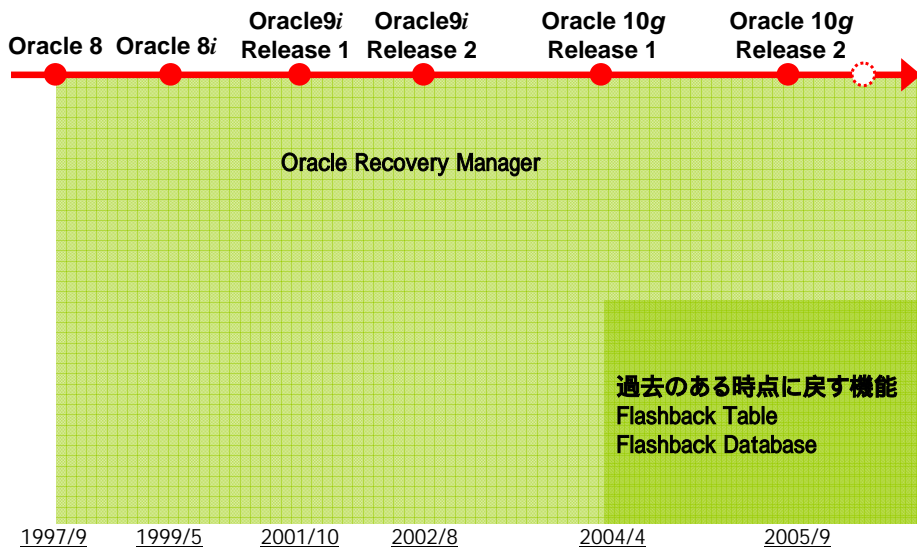
## クラスタ (4, 7)



Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

11

## バックアップ (8)



Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

12

## セキュリティ (9)



Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

13

## 情報基盤強化税制

- 高度な情報セキュリティが確保された情報システム投資を促進し、情報基盤を強化するための税制
- 期間
  - 2006/4/1 ~ 2008/3/31の期間内での投資が対象
- 対象者
  - 青色申告書を提出する事業者
- 対象設備
  1. OS 及びこれと同時に設置されるサーバー
  2. データベース管理ソフトウェア 及びこれと同時に設置されるアプリケーションソフトウェア
  3. ファイアーウォール (1または2と同時に取得されるものに限る)

**ISO/IEC 15408に基づいて評価・認証されたもの**

ORACLE

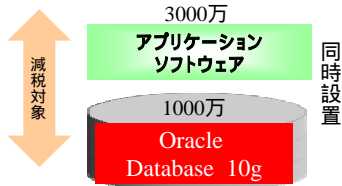
\* 詳しくは、以下を参照してください。  
<http://www.oracle.co.jp/database/news/>

Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

14

# 情報基盤強化税制による試算例

例1 高度な情報セキュリティが  
確保された情報投資  
<Oracle Database \*1使用>



例1:  
減税対象額 1000万 + 3000万=4000万  
4000万×70%=2800万  
取得額の70%が基準取得価格になるため)  
2800万×10%=280万 (法人税から控除)\*2

Oracle Databaseの購入費用1000万  
およびそれと同時に設置した  
アプリケーションソフトウェア3000万も  
減税の対象になる

\*1 対象となる製品に関しては、こちらを参照してください。 <http://www.oracle.co.jp/database/news/>  
\*2 特別償却ではなく10%の税額控除を選択した場合

例2 高度な情報セキュリティが  
確保されていない情報投資  
<他社製品 使用>



例2:  
減税対象額 0円  
法人税からの控除額 0円

他社製品の購入費用1000万  
およびそれと同時に設置した  
アプリケーションソフトウェア3000万も  
減税の対象にならない

ORACLE

Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

15

## さいごに

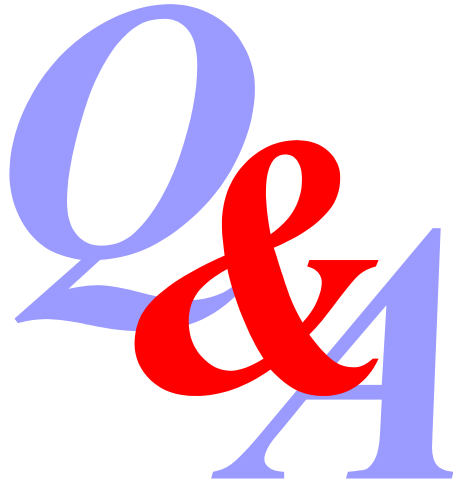
- OTN-J (Oracle Technology Network Japan)
  - <http://otn.oracle.co.jp/tech/xml/xmlldb/index.html>
  - 掲示板やマニュアルなど各種参考情報
- 93000円 (税込み 97650円、Oracle Standard Edition One、5 Named User Plus) より導入可能

ORACLE

Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

16





ORACLE

Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

以上の事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント(確約)するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

Oracle, PeopleSoft, JD Edwards, 及びSiebellは、米国オラクル・コーポレーション及びその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標の可能性あります。

ORACLE

Copyright© 2006, Oracle. All rights reserved.

18

**ORACLE®**